

2024 年度会員総会議事概要

日時：2024 年 11 月 8 日（金） 16:00～17:00

場所：名古屋大学・東山キャンパス 豊田講堂

議事：

報告事項

1. 会務報告

杉本庶務幹事から 2024 年度の会員異動について報告された。

2. 会計報告

藤間会計幹事から 2023 年度決算、2024 年度予算執行状況および 2025 年度予算案について報告された。

3. 行事報告

久保田行事幹事から、対称性講座および CrSJ Keynote の開催状況と予定が報告された。また、今年会での企画と、2025 年度は AsCA を台湾と共催することになっており、年会は開催されない旨の説明があった。

4. その他の幹事報告

藤井広報幹事から、会員への定期的なメール配信と会員からの依頼に基づくメール配信の実績について報告があった。また、水牧編集幹事からは会誌の発行状況について、森川情報幹事からは学会ホームページ内のコンテンツ更新状況について報告があった。さらに、原田男女共同参画推進幹事からは、男女共同参画学協会連絡会への参加状況やその活動について報告された。加えて、杉本庶務幹事からは、次期会長および評議員候補の推薦投票の結果と、WEB 本選挙の告知について報告があった。

5. AsCA 関連報告

杉本 AsCA 評議員から、AsCA2024 の開催日程や会場について改めて報告が行われた。また、中川本学術会議 IUCr 分科会委員長・IUCr 理事から、AsCA2025 に関する日台の実行委員の構成やポスター、開催日程、会場、参加費などの詳細が紹介された。

6. 日本学術会議関連報告

井上日本学術会議結晶学分科会委員長から、結晶学分科会では、物質科学や生命科学の基盤となる構造科学を支える博士人材育成の継続的な検討が必要であるとの結論に至ったことが報告された。また、日本結晶学会年会においては、特別講演会とポスターセッションの後援を行い、来年度以降の活動として、持続可能な未来を築くための物質構造と機能に関するシンポジウムの開催に向けた協議が進められていることが説明された。

7. その他

久保田行事幹事から 2024 年度年会ポスター賞の受賞者が発表された。本年度の受賞者は、西田祥太（東京大・院新領域）、馬場大知（東京科学大・理）、若狭優惟（立教大・理）、旭紀久子（横浜市大・院生命医）、白神優太（九大・院生資環）、安藤慎（上智大・院理工）の 6 名であった。なお、リガクファンドの支援のもと受賞者へは副賞としてメダルが送られた。

引き続き、一般社団法人日本結晶学会賞受賞式が行われた。



日本結晶学会賞授賞式後の写真：左から、杉山和正会長、杉島正一会員、藤間祥子会員、花園祐矢会員、河口沙織会員